

金日成主席の遺産は 朝鮮民主主義人民共和国の力と繁栄の保証

キルギス・チュチェ思想研究会会長

A. Ch. ウスパエブ

2022年は意義深い年です。

太陽節は金日成主席の生誕 110 周年に当たる意義深い祝日です。

全世界のチュチェ思想研究者と朝鮮民主主義人民共和国の友人は、朝鮮革命と世界の社会主義偉業の遂行に積み上げた金日成主席の特出した業績を浮き彫りにする必要があると思っています。

金日成主席は朝鮮にとって厳しい歴史的時期に朝鮮人民の革命闘争を導きました。

金日成主席は、朝鮮人民を賢明に導いて日本占領者に打ち勝って朝鮮の解放を成し遂げ、朝鮮民主主義人民共和国を創建しました。

朝鮮人民は、偉大な領袖金日成主席の指導のもとに 1950～1953 年の祖国解放戦争で勝利を達成することによって、朝鮮民主主義人民共和国を占領し朝鮮人民を従属させようとしたアメリカとその追随国の策動を粉碎しました。

戦後、自主の原則にもとづいて遂行された復興建設は、社会主義を選択したことが正しかったということを証明しました。

自力更生の威力によって短期間に人民経済が復興され、将来発展のための工業の潜在力がもたらされました。

金日成主席の指導のもとに、朝鮮民主主義人民共和国は数十年間ソ連およびその他の社会主義諸国と政治経済関係を維持しながら、同時に経済的に自給自足を実現してきました。

20 世紀の 80～90 年代に、世界の社会主義体制が危機を経て崩壊した時期に、朝鮮民主主義人民共和国は自力更生の原則を徹底的に具現して、社会主義制度を守ることができました。

金日成主席は社会主義を守るための偉業に大きな業績を積みました。

金日成主席は、世界の社会主義体制が崩壊し、その中心であったソ連が世界政治地図から消えた厳しい時期にも変わることなく、朝鮮民主主義人民共和国を導いて共和国の社会主義の土台をしっかりと守り、変化された国際情勢の下

で国家活動の根本原則を堅持しました。

朝鮮民主主義人民共和国は、アメリカが強要する政治的・経済的恐喝を原則的に退けて経済の自立性と国家路線を固守しました。

実際において、世界の多くの国(以前の社会主義陣営に属していた国家も含む)をアメリカの政治勢力圏に引き入れ、アメリカの強権政治に服従させた世界化の過程が始まっていた時期に、朝鮮民主主義人民共和国は自主権を固守しました。

朝鮮民主主義人民共和国の経済は、ヨーロッパとアジアの多くの国家をアメリカとその「同僚」の原料市場に転落させた、いわゆる世界的な経済に巻き込まれませんでした。

朝鮮民主主義人民共和国の武力は、いかなる外部の侵犯からも国と人民を守るという意志を誇示し、社会主義偉業の守護に積極的に寄与しました。

金日成主席は 1994 年 7 月 8 日に逝去しましたが、主席が定義づけたチュチェの原理はその後も数十年もの間、その正しさを誇示しました。

朝鮮民主主義人民共和国は変わることなく自分の力に優先的に依拠しながら、世界の社会主義体制の崩壊による危機の後遺症をなくして社会主義計画経済を強化し、核技術と核兵器を開発しました。

チュチェ思想を指導思想にしている朝鮮民主主義人民共和国は、世界の核強国の隊列に入りました。もっとも近代的な兵器が朝鮮の国家制度を守っています。

効率の高い計画経済は、国の発展と繁栄のための頼もしい裏付けとなります。

現代の政治的出来事は、偉大な金日成主席が創始したチュチェ思想の威力を証明しています。

朝鮮民主主義人民共和国の経済は必要なすべてのものを自力で保障できる十分な潜在力をもっています。

朝鮮人民軍に装備されている最新型ミサイルシステムは、不安定で混乱した現世界で、任意の外部的脅威から国と人民をしっかりと守るようにしています。

チュチェ思想は、歳月の試練を乗り越えました。

チュチェ思想の正当性は、朝鮮民主主義人民共和国の異なる各歴史的時期に数回にわたって証明されました。

チュチェ思想は、朝鮮民主主義人民共和国の自立と威力、繁栄の旗印です。

これはチュチェ思想の創始者である偉大な金日成主席が既に以前に見越したことです。